編集後記・奥付

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 京都市立芸術大学音楽学部 公開日: 2022-03-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://kcua.repo.nii.ac.jp/records/2000285

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.

編集後記

世界が新型コロナウィルスに翻弄され続けて、はや２年。この厄介なウィルスの蔓延とともに、様々な情報やデマ、そしてサツバツとしたことばが、今まで以上にむき出しのまま飛び交うようになった気がします。そこには思惑や悪意が潜んでいることも多いので、そうしたものに日々触れていると、どんどん疑い深くなってゆき、気が付いたら自分のことばまでサツバツとしていた、なんていうことも。しかし、「殺伐」というのは、漢字で書いてもカタカナで書いても口に出しても、どれも救いようのないくらいサツバツとしていますね。煮ても焼いても食えません。

さて、今年度の『ハルモニア』は、論文４本、研究ノートが１本というラインナップとなりました。論文はすべて博士課程の学生によるもので、自身の研究成果の一部がまとめられています。ちなみに、岡本伸介さんの論文は 50 ページを超える力作だったため、二部に分けて、後半は来年度に掲載することとしました。研究ノートは、ピアノ専攻で音楽学部長を務めておられる砂原悟教授と、美術学部非常勤講師の黒川岳先生よる共著です。

さて、これまで「音楽学部記録事項」の中で音楽学部の日程、教員の在外研修の記録、学生による作曲・演奏記録を掲載していましたが、今年度からそれを取りやめる運びとなりました。学術研究の成果を公表するという紀要本来の性格、そして図書・紀要委員の負担に鑑みての決定です。ご理解いただけると幸いです。

『ハルモニア』の編集にあたって、今年度も各専攻の図書・紀要委員の先生方、そして教務学生課の岩本和也さんと吉川恭子さんには大変お世話になりました。心より感謝いたします。

まだまだ研究活動に不自由が付きまといますが、教員と博士課程のみなさまには引き続き『ハルモニア』への積極的な投稿をお願いいたします。

2022 年 2 月 10 日　池上　健一郎

HARMONIA
52

ハルモニア52号　京都市立芸術大学
音楽学部2021年度研究紀要

発行者　京都市立芸術大学音楽学部
（音楽学部長　砂原　悟
大学院音楽研究科長　山本　毅）
編集者　阿部　裕之・中村　典子・向山佳絵子
山本　毅・上野　洋子・津﨑　実
川端美都子・池上健一郎
発行日　2022年 3 月22日
発行所　京都市立芸術大学音楽学部
〒610-1197
京都市西京区大枝沓掛町13-6
TEL　075-334-2222
印刷所　株式会社　田中プリント
京都市下京区松原通麩屋町東入
TEL　075-343-0006

表紙デザイン　中井貞次
ISSN　0914－2541